

江東区立図書館経営方針（素案）

令和2年12月
江東区教育委員会

目次

第1章 経営方針策定にあたって	1
1. 目的	2
2. 位置づけ	2
3. 計画期間	3
第2章 目指すべき図書館像	4
1. 目指すべき図書館像	5
2. 経営方針の骨格	6
第3章 目指すべき図書館像の実現に向けた取組	7
全体像	8
柱1 利用しやすい図書館	10
柱2 生涯学習を支援する図書館	13
柱3 地域に根差した図書館	15
3つの柱を支える重点項目	17
第4章 取組の推進	18
1. サービス計画の策定	19
2. 区民の声の反映	19

第1章

経営方針策定にあたって

1. 目的

これまで江東区立図書館は、江東区長期計画、教育推進プラン・江東、江東区こども読書活動推進計画等に基づき、図書館機能の充実やこどもの読書活動推進などに取り組んできました。

また、図書館運営体制の見直しについて検討を進め、令和元年度及び2年度に地域館8館について指定管理者制度を導入するとともに、開館日や開館時間の拡大を図るなど、図書館サービスの向上に努めてきました。

近年、社会環境の変化により、区民が生活していく上での課題も多様化しており、情報化・国際化の進展とともに知識や情報の重要性が増すなか、知と情報の拠点である図書館へのニーズも様々な形で顕在化しています。

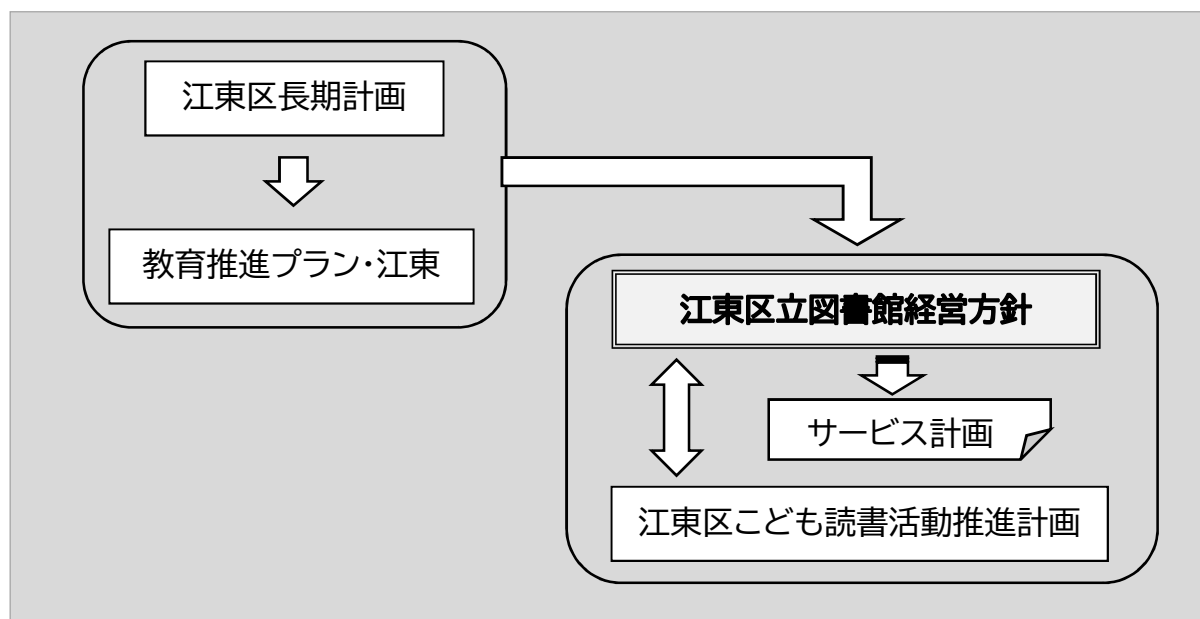
図書館をめぐる状況や環境の変化もあり、今、区立図書館は大きな変革を遂げる過渡期にあります。

このような状況を踏まえ、図書館を取り巻く環境の変化や多様化する区民ニーズに対応した各種取組をさらに推進するため、図書館全体におけるサービスのあり方や取組の方向性を明らかにした、「江東区立図書館経営方針」を策定することとしました。

なお、経営方針に基づく具体的な取組(事業)については、各図書館にて、単年度ごとにサービス計画を策定し実施していきます。

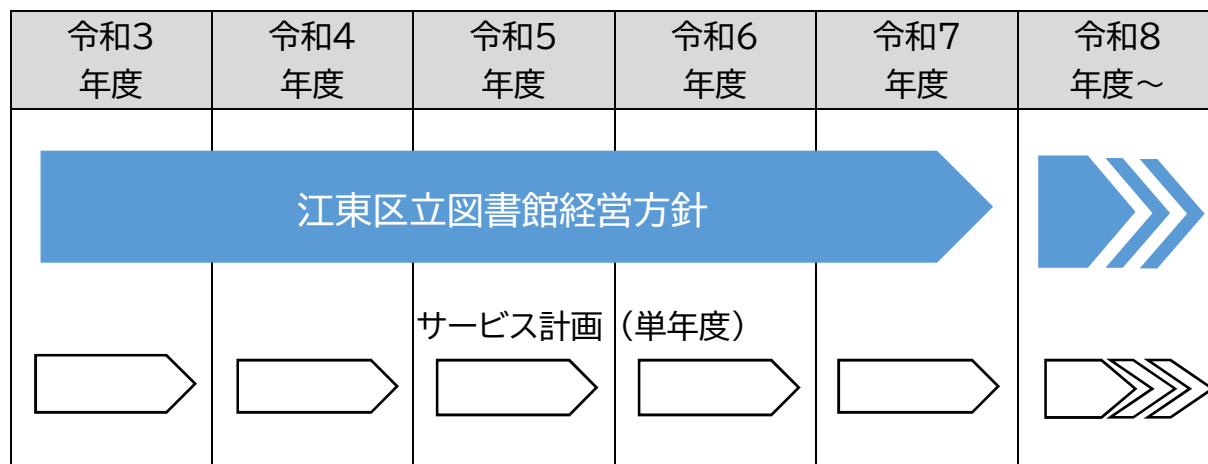
2. 位置づけ

図書館法、教育基本法、社会教育法などの趣旨を踏まえるとともに、江東区長期計画、教育推進プラン・江東、江東区こども読書活動推進計画、その他区関係計画等との整合を図り策定しています。



3. 計画期間

経営方針の計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。5年目にこれまでの取組実績や社会状況の変化等を踏まえ、方針内容の見直しを行います。

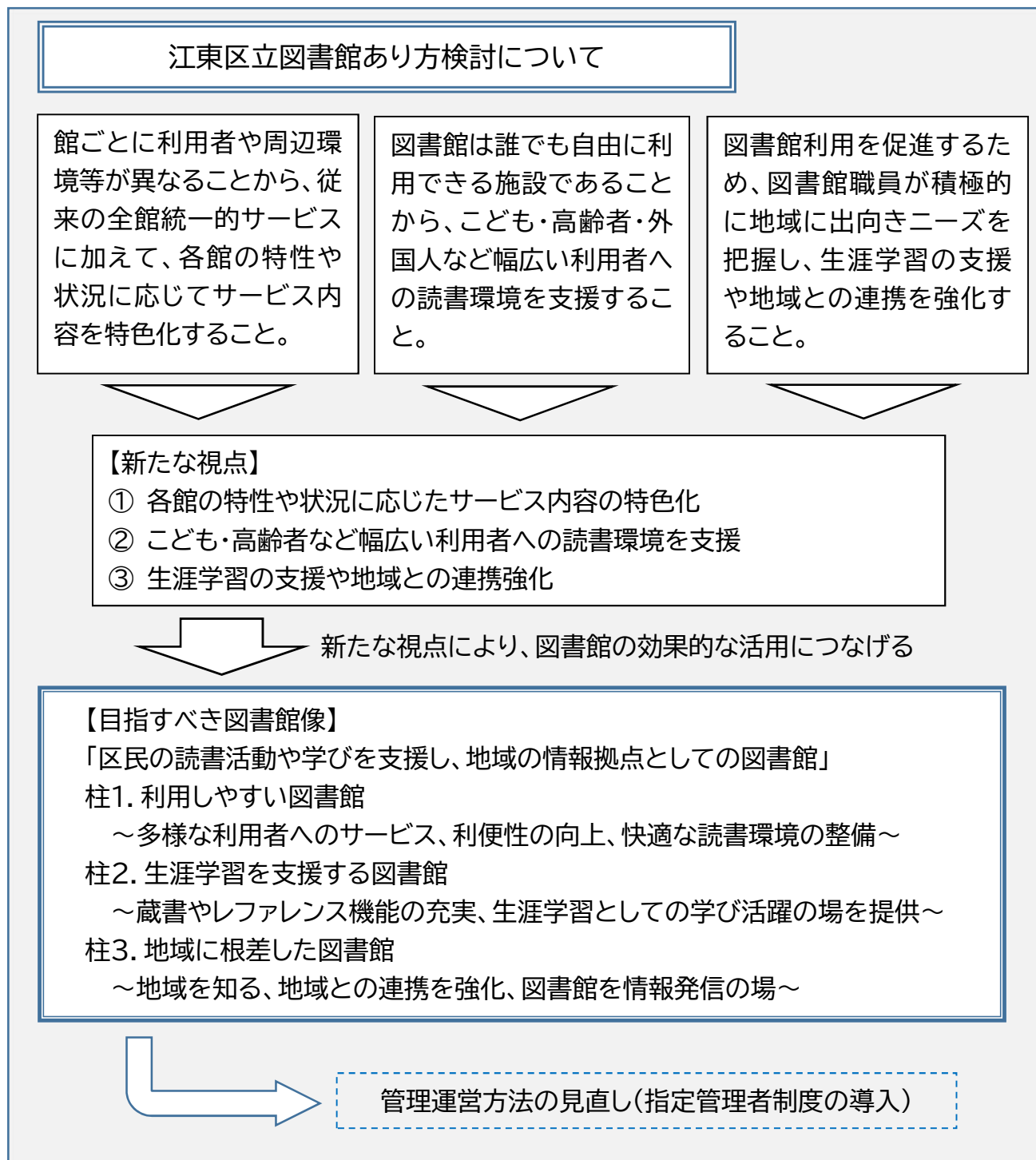


第2章

目指すべき図書館像

1. 目指すべき図書館像

「江東区立図書館あり方検討について」(平成29年1月)において、目指すべき図書館像を、「区民の読書活動や学びを支援し、地域の情報拠点としての図書館」と定め、その実現に向けた3つの柱として「利用しやすい図書館」「生涯学習を支援する図書館」「地域に根差した図書館」を掲げました。



2. 経営方針の骨格

今回定める経営方針は、これまでの取組を踏襲しつつ、一層のサービス向上を目指す目的で定めるものであり、前述の「江東区立図書館あり方検討について」で定めた「目指すべき図書館像」の3つの柱を骨格とした取組を実施していきます。

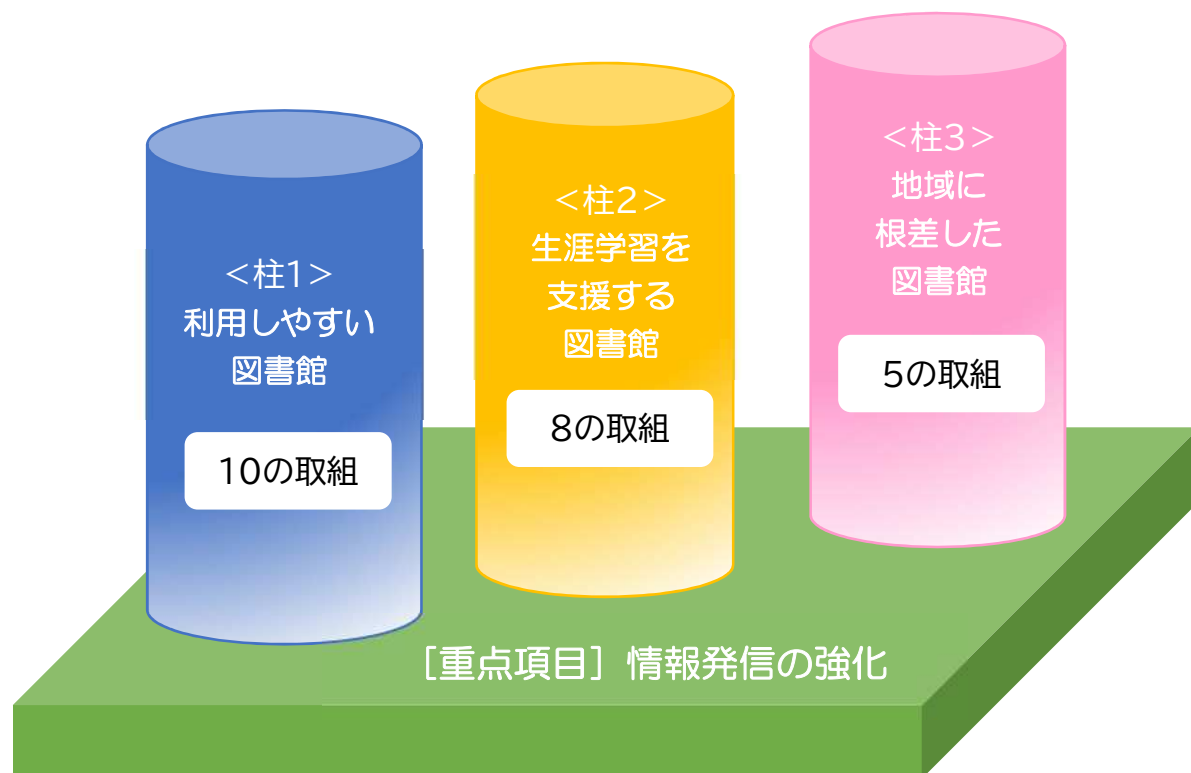


第3章

目指すべき図書館像の実現に 向けた取組

全体像

目指すべき図書館像の3つの柱に加え、新たにそれぞれの柱を支える重要な取組である「情報発信の強化」を重点項目に位置づけ取組を推進します。



柱 1

利用しやすい図書館

① 利便性の向上・快適な読書環境の整備

- 取組1 図書館環境の整備
- 取組2 図書館システムの充実
- 取組3 人材育成の推進

② 多様な利用者へのサービス

- 取組4 乳幼児への取組
- 取組5 小中学生への取組
- 取組6 高校生等への取組
- 取組7 特別な支援を必要とする児童・生徒への取組
- 取組8 高齢者サービスの充実
- 取組9 障害者サービスの充実
- 取組10 多文化サービスの充実

柱 2

生涯学習を支援する図書館

③ 蔵書やレファレンス機能の充実

- 取組11 資料の充実
- 取組12 レファレンスサービスの充実
- 取組13 オンラインデータベースの利用促進
- 取組14 電子書籍サービス導入の検討

④ 生涯学習としての学び・活躍の場の提供

- 取組15 ボランティアの活動の推進
- 取組16 大学連携の充実
- 取組17 多様な学習機会と本を通じた交流の形成
- 取組18 展示の充実

柱 3

地域に根差した図書館

⑤ 地域を知る

- 取組19 郷土資料の収集・活用の推進
- 取組20 貴重資料の保存・活用の推進
- 取組21 学童集団疎開資料の収集・企画の充実

⑥ 地域との連携強化

- 取組22 特色ある図書館サービスの展開
- 取組23 区民や地域、区内公共施設等との連携強化

3つの柱を支える重点項目

重点項目 情報発信の強化

柱1

利用しやすい図書館

取組の視点

- ソフト・ハードの両面から快適な図書館環境の整備に努め、継続した図書館利用につながるべく、職員の一人ひとりの能力を高め、区民の求めに的確・迅速に応える体制づくりが必要です。
- 新しい生活様式が求められる中、社会環境の変化により生じる新しいニーズに応えるために、既存の考え方にとらわれない柔軟な発想によりサービスを提供することが必要です。
- こどもの読書活動の推進のため学校・学校図書館との連携を図るほか、本の魅力や読書の楽しさに触れるきっかけづくりが必要です。
- 高齢者、障害者への読書支援、多文化サービスなど、多様なニーズに即した幅広い取組が必要です。

取組概要

① 利便性の向上・快適な読書環境の整備

1	図書館環境の整備
	<ul style="list-style-type: none">○月曜開館及び開館時間の延長について区民への定着を図るとともに、効果を検証し、区民のライフスタイルにあった図書館運営を目指します。○感染症等の対策として、衛生面に配慮した設備整備に取組むとともに、新しい生活様式の状況下における効果的な事業を実施します。また、長期臨時休館等が必要となる非常時においても利用者が受けられるサービスを検討し提供します。○施設整備・改修については、江東区長期計画に基づき着実に進め、利用者ニーズを踏まえたゾーニングの検討やユニバーサルデザインの実現に取組めます。○白河こどもとしゃかんの児童向け複合施設への移転では、YA(ヤングアダルト)コーナーの設置や、グループ学習スペースの確保など、サービスを拡充するとともに、子ども家庭支援センターと連携したサービスを提供します。○南部地域の人口増加への対応策について検討します。

2	図書館システムの充実
	<ul style="list-style-type: none">○計画的なシステム更新や、利用者の利便性向上に資する機器の導入などICT化を推進します。

3 人材育成の推進

- 選書知識など図書館職員としての基礎知識だけではなく、地域が抱える課題や利用者の需要に合わせた図書館サービスを提供できるよう、事業の企画・調整・実施、広報、地域に関する専門知識などの幅広い能力を持った人材を、研修等を活用し育成します。
- 経験豊富な職員のノウハウが確実に継承されるよう、マニュアル整備等の取組を推進していきます。

② 多様な利用者へのサービス

4 乳幼児への取組

- おはなし会やブックスタート等の事業を継続して実施するほか、保護者に対する読書活動の啓発や読書相談などの支援を行い、こどもが日常生活において、本に親しむことができる環境づくりを進めます。
- ★乳幼児への具体的な取組については、江東区こども読書活動推進計画に基づき推進します。

5 小中学生への取組

- 様々な本との出会いを通して読書の楽しさを知り、読書を好きになるよう、児童書等を充実させるとともに、読書への働きかけや主体的な読書活動の支援に取組ます。
- 学校・学校図書館との連携を強化し、こどもの読書環境の充実に取組ます。
- 調べ学習に向けた支援や、本と関連付けた体験事業やビブリオバトルなど、読書に対する興味や関心を高める取組を実施します。
- ★小中学生への具体的な取組については、江東区こども読書活動推進計画に基づき推進します。

6 高校生等への取組

- ティーンズ向けの蔵書の充実や読書啓発事業を実施し、高校生等の読書への興味を深めます。
- 興味・関心を喚起するための広報活動の工夫や、高校年代同士の図書を通じた交流の場の提供など図書館の利用促進に向けた取組を実施します。
- ★高校生等への具体的な取組については、江東区こども読書活動推進計画に基づき推進します。

7 特別な支援を必要とする児童・生徒への取組

- 児童・生徒個々の状況に応じた機材や資料の充実を図るなど、きめ細やかな支援や、環境整備に取組ます。
- ★特別な支援を必要とする児童・生徒への具体的な取組については、江東区こども読書活動推進計画に基づき推進します。

8 高齢者サービスの充実

○高齢者が過ごしやすい環境づくりや、本を通じた交流事業を実施します。また、高齢者向け講座の開催や情報コーナーの充実を図るとともに、区関係所管課や高齢者施設と連携した取組を促進します。

9 障害者サービスの充実

○録音・点訳図書・マルチメディアデージー資料などの拡充及び貸出の促進、対面朗読の実施など、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)を踏まえた取組を推進します。

○宅配サービスの提供やバリアフリーイベントの実施など、障害の種類や程度に配慮した取組を推進し、障害にかかわらず読書に親しむための環境を整備します。

10 多文化サービスの充実

○多言語による図書資料(外国語資料等)の充実を図ります。

○多言語化対応の促進や多文化理解・国際理解につながる取組を推進します。

柱2

生涯学習を支援する図書館

取組の視点

- 図書資料や視聴覚資料などの充実を図るとともに、利用者の課題解決に結びつく取組やサービスが必要です。
- 紙の資料に加え、オンラインデータベースなどの情報サービスの提供とその利用促進が必要です。
- 読書活動を支えるボランティアの継続した育成・支援や、大学図書館との新たな事業の実施など協働した取組が必要です。
- 生涯学習施設として、区民の学びを支える取組が必要です。
- 「情報と情報」「情報と人」「人と人」が会いつながら取組が必要です。
- 利用者のみならず、日ごろ図書館に足を向けない方の来館を促す取組が必要です。

取組概要

③ 蔵書やレファレンス機能の充実

11	資料の充実
<ul style="list-style-type: none">○図書館全体としての体系的な蔵書構成に留意しつつ、各館の地域性等を活かした特徴ある蔵書を目指します。○計画的に除籍を行いながら、一般的資料から専門的な資料まで全分野にわたる資料の収集と需要の多い資料の複本数の確保との両立を図ります。○公共図書館として「多様な資料を持ち続ける場」としての機能を果たします。	
12	レファレンスサービスの充実
<ul style="list-style-type: none">○レファレンスサービスの認知度を高めるとともに、メール等を活用したサービスの検討など利用しやすい環境整備に取組ます。○職員のレファレンス対応力の向上を図るとともに、レファレンス事例の蓄積・共有化や、関係機関との連携によるレファレンスなど、区民の課題解決に役立つ情報提供機能を強化します。	
13	オンラインデータベースの利用促進
<ul style="list-style-type: none">○オンラインデータベースの利便性や活用方法について周知を図り、認知度を高めます。○利用者の多様な需要に対応できるよう、データベースのバリエーション等の拡充を目指します。	

14 電子書籍サービス導入の検討

- 来館困難者や視覚障害者等へのサービス拡充につながる点も踏まえ、電子書籍に対する利用者のニーズや、公共図書館向けコンテンツ数、民間サービスを含めた電子書籍の普及状況等を注視し、費用対効果を見極めながら、導入への検討を進めます。

④ 生涯学習としての学び・活躍の場の提供

15 ボランティアの活動の推進

- 読み聞かせ、音訳・点訳等、図書館や地域の読書活動を支える継続的なボランティア活動を支援し、活動機会を充実させます。
- ボランティアの活動を広く区民に周知します。
- 図書館内外における多様な需要に対応できるように、ボランティア人材の継続した確保や育成に取組めます。

16 大学連携の充実

- 大学との相互貸借等、大学連携事業の認知度を高め、利用を促進します。
- 区内大学図書館と定期的な情報交換を行い、事業・イベントの広報など相互に協力する仕組みづくりの構築や、連携講座を実施します。

17 多様な学習機会と本を通じた交流の形成

- 生涯学習施設として、多様化する利用者ニーズや地域性を踏まえた各種イベントや講座の充実を図り、読書活動や図書館利用に結びつけるなど、区民の学びを支える取組を推進します。
- 知的好奇心を育み生涯にわたる自主的な学習活動を支える取組を推進します。
- 本を介した交流事業の実施など、世代を超えて、人と人がつながる取組を実施します。

18 展示の充実

- 資料との新たな出会いや新しい発見を提供するような魅力的な展示を企画・実施します。
- 展示場所や方法、周知のしかたなどを検討し、来館を促す効果的な取組を実施します。

柱3

地域に根差した図書館

取組の視点

- 郷土資料や貴重資料をはじめとした地域資料等を収集するとともに、保存や公開方法について検討を進める必要があります。
- 各図書館が地域性や利用者ニーズに沿った特色ある事業を展開していくことが必要です。
- 学校・学校図書館等教育施設、子育て・障害者・高齢者施設、企業等の地域資源との連携を深め、地域の情報拠点としての図書館機能の強化が必要です。

取組概要

⑤ 地域を知る

19	郷土資料の収集・活用の推進
○区の歴史や文化に、より多く触れてもらえるよう、郷土資料の収集・活用を推進します。	
○デジタル化による公開など、将来に渡って資料を有効に活用するための取組を実施します。	

20	貴重資料の保存・活用の推進
○貴重資料の劣化を防ぐため脱酸性化などの取組を推進します。	
○デジタル化による公開など、将来に渡って資料を有効に活用するための取組を実施します。	

21	学童集団疎開資料の収集・企画の充実
○歴史的な事実を風化させることなく、次世代へ伝えるため、疎開資料の継続的な収集や、展示イベントなどを通じた啓発活動等に取組ます。	

⑥ 地域との連携強化

22	特色ある図書館サービスの展開
○地域の課題を適切に捉え、課題の解決につながるサービスを展開します。	
○多くの人々が訪れる魅力的な図書館となるよう、地域の特徴を活かした各館独自の取組を推進します。	

- 地域の課題解決の担い手として、図書館から学校・学校図書館や関係機関、地域団体等に積極的に働きかけ発信・交流していきます。
- 関係機関、地域団体、文化施設、企業等との連携事業を推進します。
- 地域行事への積極的な参加、地域で読書推進活動に取り組む団体等への情報提供や活動支援等を通して、地域と図書館が一体となった読書活動推進に取り組めます。

3つの柱を支える重点項目

重点項目

情報発信の強化

取組の推進にあたっては、様々な場面で区立図書館の取組を知ってもらうことがまずは重要です。区立図書館では、令和元年度にホームページを見やすいデザインに一新、読み上げ機能や文字拡大機能、多言語化対応など、ユニバーサルデザインへのリニューアルや、図書館情報誌「ことらいぶ」を年4回発行し、図書館のサービスや活用方法、おすすめの図書などの情報を発信するなど、区民への広報に取り組んでいます。

しかしながら、図書館が実施している事業やサービスを知らないという声が依然として多く、サービスに対する認知を高めることが重要な課題となっています。

そこで、「情報発信の強化」を目指すべき図書館像の実現に向けたすべての取組に関わる「重点項目」に位置づけ、情報発信のあり方や方法についての検討を加速するなど、効果的な情報発信に取り組む、図書館サービスの確実な利用に繋がります。

取組概要

1	ホームページ等の充実
○ホームページ等について、コンテンツの充実やデザインの工夫、動画配信などのオンラインを活用した取組を充実します。	
○すべての人が、ホームページ等で提供される情報に簡単にアクセスでき、平等に利用することができるように、アクセシビリティに配慮します。	
2	ICTの活用
○広報誌等の紙媒体に加え、SNSなどICT環境を活用したタイムリーに役立つ情報の発信方法を導入し、図書館の利用者のみならず、これまで利用しなかった層への働きかけを促進します。	
○学校の一人一台のタブレット端末導入などのICT化に合わせて、児童・生徒に対する図書館情報の効果的な発信方法について検討します。	
3	多様な情報の提供
○積極的に地域へ出向き、地域課題の適切な把握に努め、課題解決に効果的な図書館の取組を提案します。	
○地域の関係機関や団体、区の各部署等と連携し、相互の情報発信に取り組み、多様な場所で図書館や地域、区の情報を入手できるよう努めます。	
○レファレンスや展示などを通じて、利用者が必要とする情報や新たな気づきとなる情報等、利用者と情報が結びつく機会を確保します。	

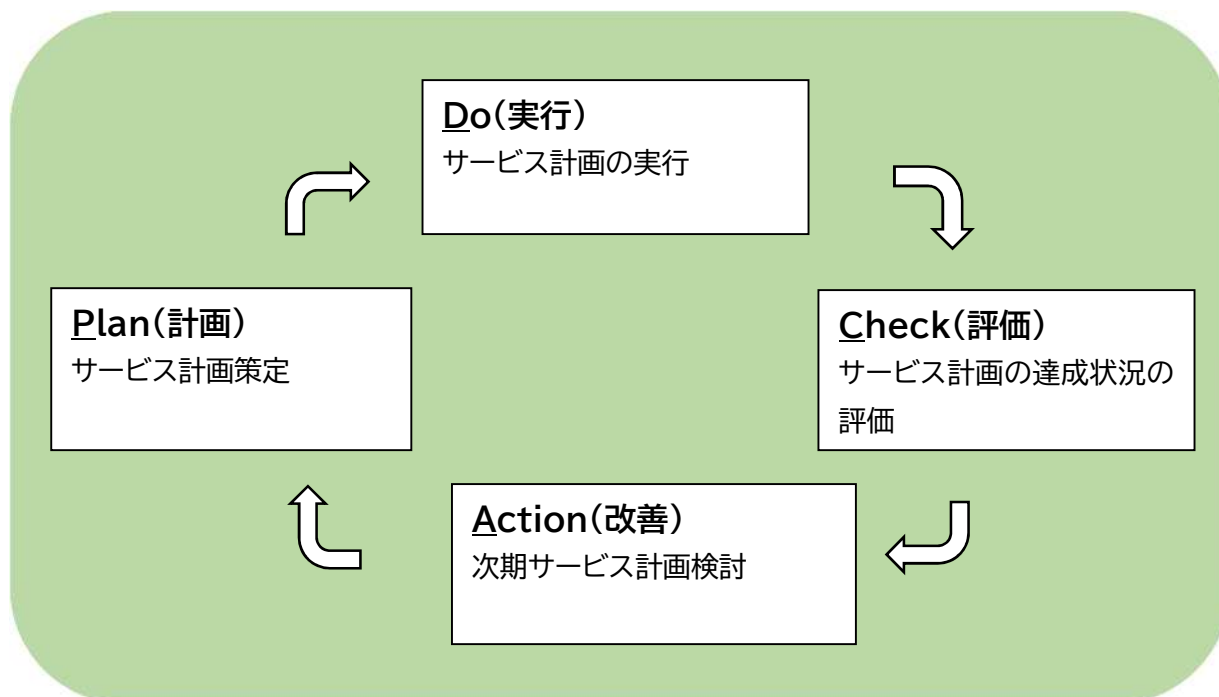
第4章

取組の推進

1. サービス計画の策定

目指すべき図書館像を実現するためには、経営方針に基づく具体的なサービスとして考案・実施する必要があります。そのため、各図書館は単年度ごとにサービス計画を策定し、経営方針に基づく具体的な取組を実施していきます。

なお、サービス計画は、年度終了後、その結果を評価し、次のサービス計画に反映させる、PDCAサイクルを取り入れます。



2. 区民の声の反映

区民ニーズに即した取組を実施するためには、区民の声に積極的に耳を傾けることが重要です。そこで、区民の声を聞く場を設け、意見を取り入れることでニーズに応えるとともに区民に身近な図書館を目指します。

